

## 第2回3月11日知事メッセージ起草委員会 主な意見

日 時 平成27年2月20日(金) 13:15~14:15  
場 所 応接室(本庁舎2階)  
出席者 委員長:知事 内堀 雅雄  
委員:加藤 卓哉、佐々木 孝司、蜂須賀 禮子、  
本多 環、横田 純子、芳見 弘一 (敬称略)  
事務局 企画調整課 課長 菅原晋也、主幹 加藤 靖宏

### 1 全体的な流れ

- ・ 全体的には問題ない。
- ・ 流れとしては申し分ない。

### 2 知事の言葉

- ・ 新聞に掲載されていた、「福島に生まれて良かった」という「福島の誇りを取り戻すまで、力を合わせ挑戦しましょう」などとして入れても良い。
- ・ 同じく、「子どもたちの笑顔を輝かせ」ること。「子どもたちに本当の笑顔を輝かせることが僕の、知事の仕事なんだよ」というところが良い。
- ・ 同じく、「そこに生まれて良かった」と子どもたちが思えることは、すばらしい。
- ・ 同じく、知事の「誇り」というのは刺さりました。これだよなど。

### 3 2015年について

#### (1) 2015年の捉え方

※2015年を象徴するイベント等と言った場合、その期間の捉え方。①2014年3月11日~2015年3月10日(Before)、②2015年1月1日~2015年12月31日(暦年)、③2015年3月11日~2015年12月31日(After)。

- ・ 過去の一年間で進んだことを言うべき。「進んだよ」という過去のことがあると良い。ただ、そうすると施設的なもののイメージが強くなる。
- ・ 振り返るだけでなく、2015年の3.11からどうやって進んでいくかという想いもメッセージに入れたい。Beforeを踏まえた上で、3.11からどう進むかというAfterも入れたい。
- ・ 1年間でこれだけ頑張ってきましたということを前提にし、これを踏まえて、今年はこういうことを頑張るというようにつなげた方がいい。いつも前進していることが伝われば良い。
- ・ 「ふくしまの未来へ」ですので、進むということがあった方がいい。
- ・ 今のもので十分伝わるのかなと思います。
- ・ 3.11が年度末ということもあり、基本は3.11から3.11の中で。

## (2) 2015年の内容

- ・ メッセージなので分かりやすさが重要で、そうすると施設的なものという感じになる。メッセージに、「除染が進んで」などというと分かりにくいので。
- ・ 知事メッセージを読むのは、県内の人だけじゃないと思うので、Jヴィレッジを知っているという前提ではない方がいいと思います。（「廃炉作業の拠点となつたJヴィレッジ」など）

## 4 体験談からの引用

### (1) どれを選ぶか

- ・ 体験談からの引用は「悲しさ」よりも、「悔しさ」や「後悔」が良い。中でもぐっと来たのが、Aの「今でも後悔しています。」というところと、Bの「大人の思いと、それを忘れない11歳の子どもの思い」。
- ・ 去年、最初の引用は、もしスペースがあれば、2つが良いのかなと。

### (2) 原発の話を入れるかどうか

- ・ やはり、原子力発電所は、福島県全部に関係することなので、やはりもう少し触っていただきたい。
- ・ 同じです。県でも、Jヴィレッジをきちんとしていこうという大きな目標がありますから、原子力災害についても入れておいた方がいいのかなと。
- ・ 人が亡くなつたという意味では、最初は津波で亡くなつた人が多かつたんですが、震災関連死の方が多くなつておりますので、原発にも触れておいた方がいいのでは。
- ・ やはり、今、大熊町が会津に行つて原因が、そこにある。
- ・ 「12万人もの県民がふるさとを離れ」た原因是原発。やはり、原発の部分は触らざるを得ない。
- ・ 入れた方がいいと思います。
- ・ 原発のことが絡んで、岩手県や宮城県より復興が進まないということを考えると、今、皆さんが困つているのは、原発に関わることが多いと思うので、載せた方がいい。

### (3) 2つ引用するとして、その順序

- ・ AとBを入れると、ちょうど津波と原子力災害。
- ・ 順序は、Aの津波から。
- ・ Bは、今11歳なので、7歳くらいの時に言つてゐることを覚えてゐるのですよ。凄いなと思いました。この子は、大人になつたら、ちゃんと読むんだろうなと思って。将来まで続いている。

### (4) その他

- ・ 最後の教師の言葉なども、ぴったりしているのではないか。